

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **08164094 A**

(43) Date of publication of application: **25.06.96**

(51) Int. Cl

A47K 17/02

(21) Application number: **06333060**

(71) Applicant: **YAMADA CHIYOE**

(22) Date of filing: **14.12.94**

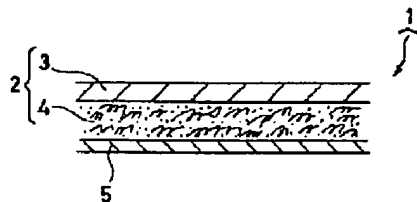
(72) Inventor: **YAMADA KIKUO**

(54) REST ROOM MAT

(57) Abstract:

PURPOSE: To make a rest room always clean so that the user does not feel unpleasant by arranging a rest room mat, which has a water-absorbing material layer that absorbs urine, on the floor around the toilet bowl.

CONSTITUTION: A rest room mat 1 has a water-absorbing material layer 2 constructed by a middle layer 4 made of ground pulp and a water-absorbing polymer and nonwoven fabric 3. Further, a resin film 5 obtained by processing a thermoplastic resin such as polyethylene, polypropylene, a thermosetting resin such as polyurethane, or the like in a film state is laminated on the back face of the water-absorbing material layer 2. Such a rest room mat 1 is arranged on the floor around the toilet bowl. Urine dropped from the toilet bowl is absorbed by the rest room mat 1, so that it can be prevented that the floor becomes dirty and the rest room can be always kept in a sanitary state.



COPYRIGHT: (C)1996,JPO

ABSTRACT ATTACHED

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-164094

(43) 公開日 平成8年(1996)6月25日

(51) Int.Cl.⁶

A 4 7 K 17/02

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平6-333060

(22) 出願日 平成6年(1994)12月14日

(71) 出願人 395007060

山田 千代恵

石川県金沢市杉浦町1-7

(72) 発明者 山田 菊夫

東京都港区高輪4-23-6 ハイホーム高
輪1001

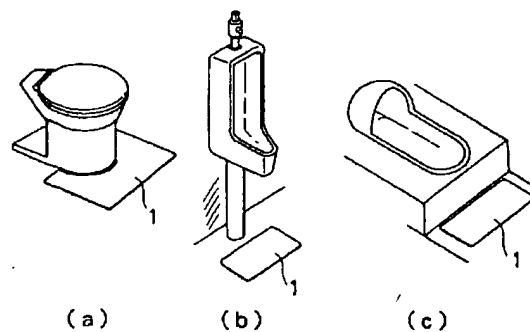
(74) 代理人 弁理士 細井 勇

(54) 【発明の名称】 トイレマット

(57) 【要約】

【目的】 トイレを常に衛生的な状態に保ち、また、利用者に不快感を与えることがないようにすることができるトイレマットを提供する。

【構成】 便器回りの床面に配されるよう便器の形態に応じた形状に加工された、尿を吸い取る吸水性素材層を有するトイレマット。



1…トイレマット

【特許請求の範囲】

【請求項1】便器回りの床面に配されるトイレマットであって、尿を吸い取る吸水性素材層を有することを特徴とするトイレマット。

【請求項2】吸水性素材層の裏面に樹脂フィルムが積層されている請求項1記載のトイレマット。

【請求項3】粉碎バルブ及び／又は吸水性高分子ポリマー、及び不織布によって吸水性素材層が構成されているとともに、粉碎バルブ及び／又は吸水性高分子ポリマーが不織布と樹脂フィルムとの間に挟まれた状態で積層されている請求項2記載のトイレマット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、トイレマットに関するものである。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】一般に、男子用小便器は、用を足す際に小便が便器の外に零れたりしないように下方の受けの部分が広がっているが、利用者の身長にあわせて個々の便器が作られているわけではなく、実際には、便器から小便が跳ねたりする等して小便が床に零れることが多々あり、また、男子用小便器に限らず、和式、洋式のいずれの便器に用を足す場合であっても、便器の外に小便が零れることがある。このようなときに、小便が零れて汚れた床を拭かずにおくのは不衛生であり、後から利用する者にとって不快でもある。

【0003】しかしながら、一般家庭ならまだしも、不特定多数の人々が利用する公共のトイレでは、用を足すたびに汚れた床を利用者に拭かせるようにするのは到底不可能であり、通常、公共のトイレは定期的に清掃されているものの、一度清掃された後、次に清掃がなされるまでの間は、たとえどんなに床が汚れていようとも、そのまま放置されているのが現状である。

【0004】本出願人は上記の点に鑑み、トイレを常に衛生的な状態に保ち、また、利用者に不快感を与えることがないように鋭意研究を重ねた結果、本発明を完成するに至った。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明トイレマットは、便器回りの床面に配されるトイレマットであって、尿を吸い取る吸水性素材層を有することを特徴とする。

【0006】また、本発明トイレマットにあつては、吸水性素材層の裏面に樹脂フィルムを積層するのが好ましい。

【0007】更に、本発明トイレマットは、粉碎バルブ及び／又は吸水性高分子ポリマー、及び不織布によって吸水性素材層を構成するとともに、粉碎バルブ及び／又は吸水性高分子ポリマーを不織布と樹脂フィルムとの間に挟んだ状態で積層したものとしても良い。

【0008】

【実施例】以下、本発明を図面に基づき詳細に説明する。尚、図1は本発明トイレマット1の使用例を示す斜視図であつて、(a)、(b)、(c)は、それぞれ本発明トイレマット1を洋式便器回り、男子用小便器回り、和式便器回りの床に配した状態の一例を示している。また、図2は本発明トイレマット1の一例を示す断面図である。

【0009】本発明トイレマット1は、便器から零れた小便がそのまま便器回りの床に放置されぬよう、図示するように各種の便器回りの床面に配して用いられるものであり、その形状は便器の形態に応じて適宜選択される。

【0010】このような用途に供される本発明トイレマット1は、尿を吸い取る吸水性素材層2を有しており、本発明トイレマット1における吸水性素材層2としては不織布等を用いることができるが、尿を吸い取ることができる素材のものであれば特に限定はされない。

【0011】本発明では、上記吸水性素材層2に、尿を吸い取った当該吸水性素材層2に細菌が繁殖したり、吸水性素材層2から悪臭が発生したりしないように、抗菌、消臭作用を有する薬剤を含浸せしめておくのが好ましく、このような抗菌・消臭剤としては、具体的には、「セントリスE-1（有限会社協和化成製）」が好適に用いられるが、これと略同等の抗菌、消臭作用を有するものであれば、他の抗菌・消臭剤を使用することもできる。

【0012】また、吸水性素材層2の裏面には樹脂フィルム5を積層しておくのが好ましく、該樹脂フィルム5を吸水性素材層2に積層するには、ホットメルト接着剤等を用いて積層すれば良い。

【0013】本発明において吸水性素材層2の裏面に積層される樹脂フィルム5の材質は、ポリエチレン、ポリプロピレン、エチレン-酢酸ビニル共重合体等の熱可塑性樹脂や、ポリウレタン等の熱硬化性樹脂等、フィルム状に加工し得るものであれば特に限定されないが、当該樹脂フィルム5は、吸水性素材層2に浸み込ませた尿が本発明トイレマット1の裏面側にしみ出ないようにするとともに、便器回りの床面に配した本発明トイレマット1の位置がずれないように滑り止めにもなるようにするために設けられるものであつて、上記樹脂のなかでも表面摩擦抵抗の大きいエチレン-酢酸ビニル共重合体やポリウレタン等を用いるのが好ましく、また、本発明トイレマット1を便器回りの床面に配した際に、床と接する樹脂フィルム5の裏面に、必要に応じて、例えば、コロナ放電加工、エンボス加工等の表面処理を施すこともできる。

【0014】尚、上記の如く吸水性素材層2の裏面に樹脂フィルム5を積層する場合には、吸水性素材層2は500～3000μm程度の厚みがあれば良く、樹脂フィルム

3

5は15～100 μ m程度の厚みがあれば良い。また、本発明トイレマット1は、不織布等からなる吸水性素材層単独で構成することもでき、この場合の吸水性素材層の厚みは0.5～1mm程度の厚みがあれば良い。

【0015】更に、本発明トイレマット1は、粉碎パルプ及び／又は吸水性高分子ポリマーからなる中間層4、及び不織布3によって吸水性素材層2を構成し、不織布3と樹脂フィルム5との間に粉碎パルプ及び／又は吸水性高分子ポリマーを挟んだ状態で、これらを積層したものとする事もでき、図2は、このような態様で実施した本発明トイレマット1の一例を示しているが、上記の態様にて本発明を実施する場合には、不織布3よりも中間層4の方が厚みがあるようにするのが好ましい。

【0016】前述したように本発明トイレマット1は、便器回りの床に配して用いられるものであるが、便器の形態に応じた形状に加工された本発明トイレマット1を便器回りの床に配しておけば、便器から零れた小便は本発明トイレマット1に吸い取られ、該トイレマット1が配されている床は汚れないので、トイレを常に衛生的な状態に保ち、また、利用者に不快感を与えることがないようすることができる。更に、便器回りの床の清掃は、定期的な清掃の際に使用済みの本発明トイレマット1を廃棄するだけで良いので、清掃の手間も減らすこともできる。

【0017】尚、使用済の本発明トイレマット1を捨てるとき、尿を吸い込んだ吸水性素材層2が表面に現れない

4

ようにするために、図3に示すよう所定の箇所に折り目6を付けて容易に折り畳むことができるようにしておくのが好ましい。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように、本発明トイレマットを便器回りの床に配しておけば、便器から零れた小便が本発明トイレマットに吸い取られ、該トイレマットが配されている床が汚れるのを防げることができるので、トイレを常に衛生的な状態に保ち、また、利用者に不快感を与えることがないようにすることができる。更に、便器回りの床の清掃は本発明トイレマットを廃棄するだけで良いので、清掃の手間も減らすこともできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明トイレマットの使用例を示す斜視図である。

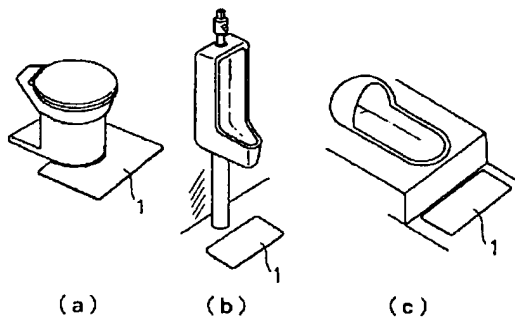
【図2】本発明トイレマットの一例を示す断面図である。

【図3】本発明トイレマットの一例を示す平面図である。

【符号の説明】

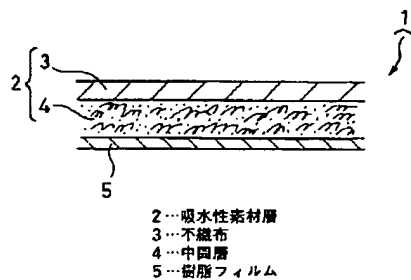
- | | |
|---|--------|
| 1 | トイレマット |
| 2 | 吸水性素材層 |
| 3 | 不織布 |
| 4 | 中間層 |
| 5 | 樹脂フィルム |

【図1】



1…トイレマット

【図2】



【図3】

(α)

(β)

